

## 栄養士・薬剤師が活用したいサプリメントと医薬品の相互作用

久保 明

常葉大学 健康科学部 / 医療法人財団百葉の会 銀座医院

サプリメント（以下健康食品も含む）と医薬品の相互作用は臨床に関わる大切な問題です。ただ、医療者側がサプリメント摂取状況を把握できないことも少なくありません。また良く知られている相互作用（ビタミンK含有物とワルファリン）であっても薬剤の使用頻度の変化や診療の対象領域などによって遭遇する機会が少ないこともあります。

表1、2にサプリメント成分と薬剤の相互作用を揚げました。<sup>1-5)</sup> 表1の薬剤例をみても、一般の臨床医の使用頻度が多いのはアトルバスタチンで、ほかは悪性腫瘍、感染、免疫関連の診療で使用される

表1 サプリメント成分 - 薬剤の主な相互作用①

1), 2)

栄養素 / サプリ成分	薬剤への影響	薬剤例
ビタミンC	→ 薬剤活性を低下する可能性がある	フルコナゾール
ビタミンD	→ 薬剤の濃度低下	アトルバスタチン
オメガ-3	↘ 薬剤反応向上 ↘ 毒性低下	イリノテカン バクリタキセル
セントジョーンズワート	→ 薬剤の濃度低下	イマチニブ、イリノテカン

表2 サプリメント成分 - 薬剤の主な相互作用②

3), 4), 5)

成分	報告 / 懸念されている相互作用、コメント
カルシウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• テトラサイクリン系・ニューキノロン系抗菌剤の効果低減</li> <li>• 活性型ビタミンD3製剤（骨粗しょう症薬）は腸管からのカルシウム吸収を促進</li> <li>• ジギタリス製剤（心不全治療薬）の効果増強</li> <li>• ビスホスホネート系製剤（骨粗しょう症薬）の効果低減</li> <li>• 2012年レビューにおいて薬剤との相互作用が最も多く報告された成分の一つ</li> </ul>
マグネシウム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビスホスホネート系製剤（骨粗しょう症薬）の効果低減</li> <li>• テトラサイクリン系・ニューキノロン系抗菌剤の効果低減</li> <li>• 2012年レビューにおいて薬剤との相互作用が最も多く報告された成分の一つ</li> </ul>
鉄	<ul style="list-style-type: none"> <li>• タンニン酸アルブミン（下痢止め）の効果低減</li> <li>• ビスホスホネート系製剤（骨粗しょう症薬）の効果低減</li> <li>• メチルドパ（降圧薬）の効果低減</li> <li>• テトラサイクリン系・ニューキノロン系抗菌剤の効果低減</li> <li>• 2012年レビューにおいて薬剤との相互作用が最も多く報告された成分の一つ</li> </ul>
中性アミノ酸	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レボドパ（抗パーキンソン病薬）の効果低減</li> </ul>
コエンザイムQ10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 降圧薬、糖尿病治療薬の効果増強</li> </ul>